

「第9回川内川水系流域治水協議会」議事概要

(第12回川内川大規模氾濫減災協議会・第11回えびの大規模氾濫等減災協議会との合同開催)

「川内川水系流域治水プロジェクト」の推進に向けて「第9回川内川水系流域治水協議会」を開催しました。川内川水系流域治水協議会では、流域治水プロジェクトの「行動計画」や「自分事化に向けた取組」等を作成しており、流域治水プロジェクトの取組状況の見える化を実施しております。上記を基に、各機関における流域治水プロジェクトの進捗やグリーンインフラ取組状況について共有し了承されました。また、防災気象情報の改善や内外水統合型の水害リスクマップ等、最新の防災情報について、情報を共有しました。

さらに、流域市町の市町長をはじめ関係機関で、各市町における流域治水推進に関する課題や取組等について意見交換を行いました。

開催概要

- 日時：令和8年5月20日（水）10:00～11:00
- 場所：さつま町役場本庁 別棟3階大会議室（web併用会議）
- 参加者：川内川河川事務所 鶴田ダム管理所 薩摩川内市 さつま町 伊佐市 湧水町 えびの市 鹿児島県 宮崎県
鹿児島地方気象台 宮崎地方気象台 九州森林管理局北薩森林管理署 森林研究・整備機構鹿児島水源整備事務所

議事内容

- ・流域治水プロジェクトの行動計画のフォローアップについて、了承された。
- ・第2回川内川水系の総合的な内水対策を考える連絡会の開催結果が報告された。
- ・最新の防災情報、今後の取組について共有した。
- ・各市町における流域治水やかわまちづくりの推進にあたっての取組・課題等について意見交換を行った。

主な意見等

【薩摩川内市】

- ・H18.7洪水後、鶴田ダムの再開発や川内川の引堤事業等整備が着実に進められており、関係者の皆様のこれまでのご尽力に感謝申し上げる。
- ・かわまちづくりについては、市民から好評を得ており、市の魅力づくりにもつながっていると実感している。
- ・今後は、市としても流域治水の取り組みを更に進め、国、県、流域市町としっかり連携していきたい。

【さつま町】

- ・虫だけに限らず、川内川の環境を取り戻すということが、今後一番必要と思っている。環境整備を流域全体で取り組んでいく必要がある。
- ・土石等の堆積により支川が氾濫し、水田等が被害を受けている。山の管理等、一体的な整備を進めていかなければならないと思っている。

【伊佐市】

- ・国の川内川の治水対策により、格段に安全度が増しているのを実感している。県には、支川のいろんな箇所で整備をして頂き、感謝している。
- ・かわまちづくりについて、カヌー場やパークゴルフ場に県内外から来客があり、温泉街、旅館が非常に盛り上がっている。

【湧水町】

- ・かわまちづくりは交流、関係人口対策に大きな効果がある。住民に川を親しんでもらう機会を増やすのみならず、整備地区全域を連携することを目指して国、県、観光協会の支援を得ながら、各市町が連携を模索しているところ。
- ・治水事業で治水安全度が向上しているが、安心してはいけない。今回、防災の進め方等を教示頂いたので活かしていきたい。

【えびの市】

- ・川内川源流部は全国有数の多雨地帯である。えびの市は川内川の最上流部であり、流域治水の出発点として役割を果たさなければいけない。



薩摩川内市長



さつま町長



伊佐市長



湧水町長



えびの副市長



【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 川内川河川事務所 流域治水課
〒895-0075 鹿児島県薩摩川内市東大小路町20番2号 TEL 0996-22-3271